

平成28年度 第2回坂井輪地区公民館運営審議会 会議録

実施年月日	平成28年12月7日(水) 午前10時～正午		
会 場	坂井輪地区公民館 4階 講座室1	出席委員 7名	傍聴人 1名
出席者	委員		郷扶二子、伊藤智之、高橋真規子、土田幸子、横坂幸子、中島伸子、松尾雅美
	事務局	坂井輪地区公民館	阿部靖壽、白井嘉弘、高橋勇人
		西地区公民館	前田和隆、南部浩美
		黒埼地区公民館	鳴海俊明、小竹憲幸
	小針青山公民館	佐野憲昭、渡邊ますみ	
議 題	1 平成28年度西区公民館事業中間報告及び今後の事業について 2 公民館利用者拡大に向けた各館の取組について(意見交換)		
阿部館長あいさつ			
郷議長あいさつ			
審議内容について以下に記載する。			
1 平成28年度西区公民館事業中間報告について(資料1)			
坂井輪地区・西地区・黒埼地区・小針青山 各公民館長	西区内各公民館長から平成28年度西区公民館事業中間報告として、今年度実施事業の報告及び今後の計画、特に新たに取組む事業についてチラシ等参照し説明。質疑応答。		
2 公民館利用者拡大に向けた各館の取組について(意見交換)			
郷議長	公民館利用者拡大に向けた各館の取組みについて順次説明をしていただき、それについて皆さんからご意見をいただきたいと思います。 その後、11月30日に各区の公民館運営審議会正副議長会議が行われました。私は所用がなくて行けませんでしたので、出席された伊藤副議長からその報告をお願いしたいと思います。では、順次、坂井輪地区公民館から取組みについての状況をお話してください。		
阿部館長	坂井輪地区公民館ですが、先ほどの事業報告の中でも説明しましたが、高齢者が多いので利用団体が減っていく中、新たな団体を育てるため、連続講座の「ゆりかご学級」では講座が終わって、文集作りを終えてから団体登録をして、定期的に来ることになりました。 また、「農業体験講座」も連続講座を終了してからも継続して公民館を使っていこうというメンバーでグループ化が進められています。 そのほかに、1階のフリースペースは自由に使えるということもPRし、子どもたちがいつでも集まれるようにしている。音楽室は中高生がバンド練習の利用や活動の場所として提供し利用者の増加に努めています。		
郷議長	ありがとうございました。では、西地区公民館、お願いします。		
前田館長	先ほどの事業報告でも説明しましたが、最初の資料1-2のところにあります「新規講座開設事業」は、新たに講座を開設することにより、その受講生の中からグループ化を進めるための支援を含めて開催するものです。また、既存のグループには「自主グループ育成事業」というところで、困っているけれども手を貸してほしいというグループに対して支援していく取り組みです。		

前田館長	<p>10月末に「うちのまちづくりセンター」がオープンしました。ほとんど同じ機能で非常にきれいで素晴らしい施設なので公民館の利用者がどっど行くのかなと思って危機感を持っていましたが、案外残ってくれました。少しほっとしています。私にしてみればあそこは第二公民館だと思っていますので、全体として地域に賑わいが出ればなおいいかなと思っています。また、当館は結構大学生に使ってもらっています。もっと大学生に来てほしいということでこのチラシを大学の窓口に置かせてもらって気軽に来てもらいたいと思っています。</p> <p>各種講座を実施していますが、やりっ放しではなくて、最後には参加者が話し合うようなものに力を入れています。参加者の自由な話し合いの中で、できれば自主グループ化に向けた公民館のアピールが重要と思っています。</p>
郷議長	<p>ありがとうございました。黒埼地区公民館、お願いします。</p>
鳴海館長	<p>黒埼ですが、先ほどの説明の中でも申しあげました通り、公民館で行った講座が利用団体に結び付いていけばいいという狙いで、今年初めて「男の楽しくクッキング」を行いました。好評で今まで家庭に帰っても「飯はまだか」だったのが、逆に「飯ができたぞ」という言葉を言ってみたくらいという参加者もいらっしゃいました。私どもの思惑通り利用団体にもっていきたくと思っています。</p> <p>黒埼地区は恵まれており、公民館が三つございます。北部公民館では講堂を卓球団体が利用しており現在7団体ございます。西区の中でも一番多いのではないかと考えています。当然定期利用団体に入っており、練習日に当館の方から大会をやってみてはどうかと声をかけましたら、4団体がよしやろうということでまとまりました。</p> <p>2月19日に第1回目の「黒埼ときめき杯」を開催します。館利用者や見物人、応援者も来たりして活性化していくのではないかと考えています。今後、西区内の公民館にも声をかけ区の大会ができればと思っています。</p>
郷議長	<p>ありがとうございました。では、小針青山公民館、お願いします。</p>
佐野館長	<p>小針青山ですが、公民館利用者というのは、主催事業の部分と貸館の部分があって、貸館の部分は、来年20周年ですが、最盛期は150あったサークルが今100位に減っています。これは、皆さんの意見、発言でもあったように、大体が高齢化なのです。20年経てば、やはり60歳だった方が80歳になります。それを増やさなければいけないというのがあって、一つは、去年、男性料理教室というものを1回主催事業でやりました。それはサークル化しました。ただ、オープンカレッジの関係で、今年の1月、2月、3月と主催事業で講演会をやったのですが、その中でアンケートを取りましたら、2割の方が来たことないと。西新潟市民会館よりも向かいの小嶋屋のほうがずっと有名ですから、分からない人には小嶋屋の向いだと言うと大体分かります。やはり、まず知ってもらうことが大事だというのがすごくあります。</p> <p>そういう意味で、オープンカレッジは、第2週に地域学、第4週に教養学という形でやっているわけですが、今回、10月から映写会を第3週に入れました。第1週はというと、4月から、先ほども名前が出ていたレクリエーション協会とタイアップして、月1回、第1週に軽運動、レクリエーション協会がお金を取って事業をやっていただくことにしています。</p> <p>要するに、毎週何かしら来てもらうものがある。それぞれの事業で、映写会なども含めて60名から80名くらい、運動については40名前後。まず、来たことがない方に来てもらう。実際、1月にやったときのアンケート結果では2割の方が来たことがない。ということは、2割の方が新しく足を踏み入れたわけです。オープンカレッジなり映写会なり、今までやっ</p>

佐野館長	<p>ていないことをやることで、公民館がどこにあるか、何をやっているか、入ったことがなくて何をやっているのか分からないという状況ではなかなかサークル化どころではないわけです。そういう意味で、主催事業の中で利用者拡大を図りつつ、公民館とは何かということを知周知していく中で、どうやってサークル化していくかというのは次の段階だと思っています。</p> <p>なかなか高齢化していますので、いろいろな試みはしていかなければいけないのですが、新しい団体をつくっていただくというのはなかなか難しいかなと。ただ、いろいろな主催事業の中でニーズを考えながら仕掛けていけたらいいなと、今のところは考えています。</p>
郷議長	<p>ありがとうございます。皆さん、今の館のいろいろ努力されているお話をいただきましたが、委員の方からこのようにするといいよとか、この点いいですねというお話があったら教えてください。</p>
高橋委員	<p>黒埼地区公民館などで、子どもたちを巻き込んで活動されている。そうすると、子どもたちが公民館という場所を知ることができます。今の子どもたちはいろいろなことを知っていて教える力もあると思います。上手にタイアップできるとさらにいいのかなと思いました。また、西地区公民館が行っていた、大学にチラシを置く、公民館は子どもの時に行ったよねというところから、何かあったら公民館に行けばいいじゃないという、そういう発想が湧いてくると思います。ですから、今やっている取組みを、利用者が少ないからやめてしまうのではなくて、継続されていくということがすごく大事で、いい取組みをしているのではないかなと思いました。</p> <p>私の子どもも小さいころ公民館に来たので、勉強をどこでしょうかなとなったときに、じゃあ公民館に行って来ると言葉が簡単に出るようになりました。ほかの子たちに聞いても公民館という言葉を知らない。図書館は知っていても公民館は知らないという状況です。もっと公民館を知ってもらうことも必要と思います。</p>
中島委員	<p>これらを試みられて、あるいは決まりとしてやってはだめというものがあるのかもしれませんが、例えば若い人とかを誘い込むとか、知っていただくことで一番情報が拡散するかなと思うのはやはりSNSだと思うのですが、公民館の活動などを紹介していくということはだめなのでしょうか。いいのですか。</p>
阿部館長	<p>全然問題ないです。今、うちのコミュニティ・コーディネーター養成講座でも、独自でフェイスブックで情報を流しているし、全公民館にフェイスブックをつくるよう指示が出ているが、館によってこれはできないところもある。ちなみに、坂井輪もまだやっていません。</p>

中島委員	<p>多分、思ったより抵抗なくできると思いますし、そうすると、非常に近辺の、多分住んでいる地域とつながっていたりするんですね。けっこう効果が高いのかなと思ったりするのが一つと、私もよく分からないところがあるのですが、各公民館のホームページがあったとしたら、やはりこれだけバラエティに富んだ事業が1年間でなされていて、このように区分けされているというところがあるので、各ホームページにアクセスする人によって自分がどういうカテゴリーの活動に興味を持っているかということが大体決まっていると思うのですけれども、こういう情報を非常に整理された形で、もしある程度予定が決まっていたら何月にはこういう催しがありますよということが割とパッと分かるような形で提示されていると、予定が立てやすいかと。私もそこは興味があるのですけれども、いろいろな予定が入ってくると逃してしまったとか、後で知ったということがあるのですけれども。それぞれの館で工夫されて、その情報が得たい人のところに効率よくいつているのかなということが、そういう</p>
中島委員	<p>ものがあると少し違ってくるのかなと思います。高齢者の方はあまりインターネットとか見られないと思うのですけれども、若い世代は割とそういうところで情報収集していると思うので、そういうことを感じました。</p>
郷議長	<p>ありがとうございました。大学生にチラシを持って行くよりも、ネットで拡散したほうが大学生にはより身近に感じるかなと。ちなみに、今、フェイスブックをやっているところがありますか。</p>
伊藤副議長	<p>中地区がありましたよね。</p>
阿部館長	<p>西地区がやっています。新潟市のホームページは、新しい情報をアップしようとしても、検査をされて、なかなか難しいのです。それで情報が遅れるので、フェイスブックで簡単に情報を出せるよということ、中央公民館から指示されてはいるが、そこは順次。</p>
伊藤副議長	<p>公民館のサイトで、年間行事の発表がありますけれども、そこに行事が載っていて、そして見ていただいたところにはクリックするとPDFが出るように。そのように出ますからね。検索で単語を入れるとか、それで検索がけっこうできると思うのです。それから行事の例が全部、古いものから新しいものがずっと上っていて、けっこうまめに載っていますよ。</p>
阿部館長	<p>事業はこのような状況でしたという、情報を発信するのは、フェイスブックが一番早いという気はします。</p>
郷議長	<p>そうですね。だから、例えば参加者をまだ募集というのもフェイスブックで発信すると、少ないのだったら行こうかなとなるかもしれませんね。</p> <p>ほかにありますか。</p> <p>皆さん、いろいろと取組みをやっていて、それから委員の方からは、地道な努力で、今公民館を利用している子どもたちが育っているの、この人たちが大きくなったときには、公民館がもっと知れているのではないかと、ネットを使つての広報とか、アイデアをいろいろ出させていただきました。公民館も、できるところから取り組んで、やはりなくてはならない公民館なので、利用者が拡大して、充実して、工夫しながらいい活動ができるように、その工夫の中でも予算がないというのがあるきではなくて、やはり生涯学習を続けていくためにどういった工夫をしていこうかというところの知恵を絞って、いい活動を続けていってほしいと思います。ありがとうございました。</p> <p>では次に、正副議長会議に出られた伊藤副議長からご報告をお願いします。</p>

伊藤副議長	<p>資料をお配りしているのですが、これに基づきまして若干説明させていただきたいと思えます。</p> <p>11月30日に運営審議会の小委員会というのですか、正副議長会議というものが新津地区の公民館で行われました。坂井輪地区公民館の阿部館長と一緒に参加させていただきました。</p> <p>意見・情報交換の欄に議題等が書いてありますが、読みながらお話しさせていただきますと、各公民館とも、一応年次計画に基づきまして運営はされていっておりますということでした。だけど、公民館事業につきまして、コミュニティ協議会とか学校の連携により活動する部分が多いという発表の館がありまして、一部、この活動が地域コーディネーターの負担になっているというお話もございました。</p> <p>次に公民館予算についてなのですが、会場で配布された資料によりますと、公民館についての予算の収入が4,200万円、一方で支出につきましては2億2,200万円ということになっております。これは市の負担になるわけなのですが、特にその中でも多いのが、家庭教育充実の支援というもので920万円、それから地域における生涯学習活動への支援というものが1,100万円という数字で多くなっております。ほかに生涯学習施設の管理運営というものが3億8,000万円ですが、これが公民館のいわゆる施設保全管理かなという感じがしております。このようなことになっておりまして、この予算について来年度の予算の策定時期に入っているのですが、引き続き地域コミュニティ活動の活性化と家庭教育充実の支援を重点事業として取り組んでいきますと。予算額のシーリングがあるため、減額となりますというような話でありました。ですが、重点事項については、現状維持くらいに考えているということであります。</p> <p>次に公民館マークの公募についてということで、12月1日にチラシが出たり、広報に載っているかと思うのですが、今募集しているので応募してほしいという話がありました。</p> <p>それから、4番の有料化ですね。公民館利用の有料化について、平成24年度下期から有料化を実施していますが、ちょうどこの秋で5年になりますので皆さんから意見を聞きたいということでもございました。利用者の声としては、午前・午後の区割りとか、時間割とか、使用料の多寡とか、コミセンとの絡み、いろいろとありまして、アンケートの実施や聞き取りを行って実態の調査を行う必要があるのではないかという話もございました。利用団体のうち、15パーセントが減免されているというようなことでもございました。特に参加された役員の方の説明によりますと、ほとんど減免だということがありまして、有料化の話はまだ進んでおりませんでした。</p> <p>次に裏面なのですが、今後の公民館の管理運営についてなのですが、全国的に指定管理の動きがあるので、新潟市でも話が出るのではないかとということですが、現市長については今まで通りやりたいということになっております。一部、地区によりましては、第三セクターに移ったりとか、指定管理者が決まるとか、そういう動きもあるそうです。</p>
郷議長	<p>ありがとうございました。今のご報告で、お聞きしたいことは何かありますか。大丈夫でしょうか。どうもご苦労さまでした。ありがとうございました。</p> <p>では、これで本日予定されておりました議事はすべて終了いたしました。</p>